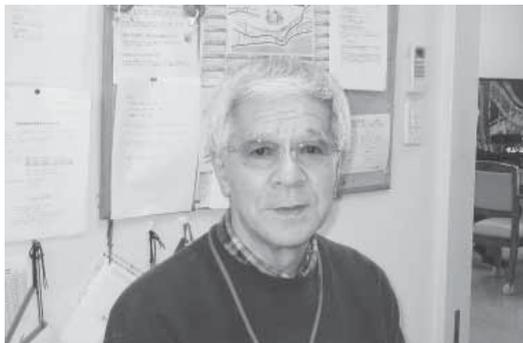


## 実際に活動している方にお話を聞きました

大磯町にあるグループホーム「デイサービス悠悠苑(高麗)では、現在2名の方がはつらつサポーターとして登録し活動しています。10月から悠悠苑で実際に活動を行なっている石井守男さん(66歳)にお話を伺いました。



▲はつらつサポーターの石井さん

### ●活動するきっかけは??

「妻の母親がお世話になり、施設の方が非常に親切にしてくださいました。感謝の思いが強くと、恩返しをしたい、地域に還元したいという思いから、行動に繋がりました。」

●現在週1回2時間、施設を訪問している石井さん。実際に活動してみているかがどうか。

「はじめは苦労もありました。名札をつけていなかったため不審に思われたり、お話をしていると急に怒鳴られたりもしました。しかし、足を運ぶたびに顔と名前を覚えていただき、自然と皆さんと打ち解けていくことができました。親身に接することで心を聞いてくれたようです。また、私自身も皆さんから、働いていたときの話を聞いたりすることで非常に勉強になっています。元気を与えるつもりが逆に元気をもらっています。」



▲皆さんと交流する石井さん

●手が空いたときには率先して掃除や力仕事もしているそうですね。

「自分が出来ることを見つけ、出来ることをしているだけです。タブレット端末を持っていき、皆さんに写真を見せたり、歌詞を見て一緒に唄ったりもしています。自分も楽しませてもらっていますよ。(笑)」



▲タブレット端末と歌詞の本

### ●今後のはつらつサポーターに期待することは、どのようなことでしょうか。

「男性のサポーターが少ないことが寂しく思います。仕事を退職したばかりの元気な方に、もっと参加していただき、一緒に会話をしながら活動したいですね。仲間がいることによって、

## 施設の方にお話を聞きました



▲悠悠苑施設長 石塚さん

「石井さんが来てくださることで、皆さんに笑顔が増え、生活が豊かになり、非常に感謝しています。また、職員も

石井さんが活動する姿を見ることで、学びや励みをいただくことになり、刺激になっていくようです。地域とつながっていく実感があり、絆を感じます。ポイントを利用することで、地域の活性化もできればと思います。今後も地域ぐるみの支援に関心を持つ方にご登録していただき、はつらつサポーターとして、どんどん悠悠苑に足を運んでいただきたいと思います。」

自分もまだまだできる!という気持ちが出てきます。

最初は不安があるかもしれないですが、誰でも新しいことを始めるときは勇気があるものです。やり始めると本当に楽しいですよ。ポイントを貯めて買い物もできるので、家でポイントして過ごすよりもずっと良いです。(笑)自分自身、はつらつサポーターの活動が習慣になり、悠悠苑に来ることがとても楽しみになっています。帰りきわ、皆さんに手を振ってもらおうとまでは少し寂しいです。(笑)」

### 取材を終えて

高齢者が移動する際には椅子やドアを引いたり、本を見るときには立ち上がりページをめくってあげたりと、常に皆さんに気配りをされている石井さん取材の際も質問にひとつひとつ丁寧に、熱心にお話をしてくださいました。「はつらつサポーターとして、息の長い活動を目指して頑張っていく」とおっしゃってくださいました。

問 福祉課 ☎内線315